



かけはし

運動会を終えて

雨天の為一日順延となりましたが、当日は素晴らしい天気を私たちに与えてくれました。今年、自然の驚異とありがたさの両面を改めて感じさせられました。今なお、苦しい日々をがんばっておられる方々のためにも、今日の天候に感謝し「精一杯の体育学習を発表する大切な機会なんだ」との意識を強く持ち、走ったり演技をしたり運動会でした。

心に残る運動会とは、

- 児童一人ひとりが自分たちの持てる力を最大限に発揮し、主体的に作り上げていくという姿。
- 上級生が係活動や運営等で、全体に児童をリードしていく姿。
- やらされるのではなく、積極的にやりながら楽しもうとする姿。
- 全体を盛り上げ心に残る物にしようと企画していただくPTA役員の方々の支援の姿。
- 時には児童の中に入って共に競技をしたり、子どもたちの姿を一生懸命に見ながら声援を送っている教職員の姿。

これらの姿が運動場いっぱいになり広がったとき、心に残り感動を与える運動会になるんだと改めて感じさせられました。

特に6年生は、小学校最後の運動会となりました。6年間の集大成として準備や委員会活動など積極的に取り組むなど、思い出の多い大会になったことでしょう。また各学年のみなさんは、当日の頑張っている姿はもちろんですが、それまでの頑張りの姿があったからこそ、やり遂げたという思いが大きかったことでしょう。この思いは自分の大きな自信と次への頑張りの力につながってほしいと思います。一方、大きな思い出を残し、運動会を成功させることができた陰には、保護者をはじめ、家族や地域の人や色々な人たちのご協力とご支援があったことを忘れてはなりません。

素晴らしい結果を残すことができた今回の運動会に心から拍手を送ります。

5・6年生の日記より

○《応援係になって》 運動会で大きな声で応援していると、退場門の方から来た子に「さっきの応援で勝てた。」って応援係のみんなに言ってくれました。私は（応援でがんばるんだな。応援したかいがあったな。）と思ううれしくなりました。それからずっと応援していました。私もリレーの時、4年生や低学年達が応援をしてくれたので私も（がんばろう。）と思いました。やっぱりチームだからみんなで助け合って1位になりたくて一生懸命でした。先生がいつも「一人でもかけていたらだめ。」ということもよく分かりました。 一後略一

保護者の声より

○6年生最後の運動会。特に金管や組み立ては、堂々と自信を持って演奏に演技に頑張っている姿がとても印象的でした。

○運動会に際し、子どもたちに指導ありがとうございました。組み立ては子どもにとって目標で、練習では失敗もたくさんあったんだろうなあと思います。でも、本番では頑張っている様子がとてもよくわかり、親としてはとてもうれしく感じました。「頑張れば出来る！」子どもたちにとっていい経験になったと思います。

義援金のご協力、ありがとうございました！



PTAのタオルの販売売上金から、108,719円
児童会が呼びかけて集めた募金、14,368円

25日（火）に、市役所の市長室でPTA会長・副会長・総務財政委員長さんと児童代表の運営委員の6年生が、太田市長さんに直接手渡しました。「完全復旧には、まだまだ時間がかかるけれども、みなさんの気持ちを大切に義援金を有効に活用していきたい」との言葉をいただきました。

<ご協力、ありがとうございました>

図書室に今年は700冊余りの新しい本が届きました！！深まりゆく秋、子どもたちは読書にもいそんでいます。

○延期になって、待ちに待った運動会♪正直、ちょっと「え～」でした。理由は、運動場がグジュグジュだから。組体までには、乾いてくれてみんなで言ってました。入場行進で金管を吹きました。今まで練習して、練習して。でも、緊張のせいで少しだけ音が小さくなりました。係の仕事もがんばりました。走り回って大変でした。毎年6年生はこんなにいそがしかったんだと、びっくりしました。組体は気合いをいれてがんばりました！みんなに感動してもらえたかなあ。最後のピラミッド、くずれなくてよかったです。くいのないようにできたけど、最後の運動会なんだと思うとさみしかったです。